

平成31年度使用中学校用教科用図書を選定理由

(南那珂) 採択地区協議会

選定理由

- ① 本地区の生徒一人一人が、まず、しっかり考え、他者の意見を聞き、議論し深める道徳の授業であるために、生徒にとって、別冊のノートがあるよりも「書く」活動が精選されている方が適しており、生徒の実態や指導者の願い、想いを踏まえて、多様な活動を展開しながら、生徒が道徳的価値を深化していくことに適している教科書と判断する。
- ② 1年間で四つのまとまりから構成され、それぞれに「学びのテーマ」があり、1単位時間ごとの学びのつながりが見える構成になっており、1年間をとおして道徳の時間での学習内容や意図が、指導者にとって取り扱いやすく、生徒にとって分かりやすい教科書と判断する。
- ③ 読み物資料の後に、「学びのテーマ」「考える観点」「見方を変えて」「つなげよう」「私の気づき」の5つの要素で構成されている『てびき』のページがあり、指導者にとって学習指導過程を構成しやすく、生徒にとって学びやすい教科書と判断する。
- ④ 読み物資料の後に「私の気づき」や巻末に「学びの記録」があり、生徒が教科書に直接書き込むことができ、生徒自身の振り返りが可能である。また、その記録の蓄積が、指導者にとって長期的に生徒の成長を見取ったり、評価の材料として活用したりしやすい教科書と判断する。
- ⑤ 巻末の「学びの広場」を有効に活用することが可能で、特に、小学生の時に出会った可能性が高い教材が補充教材として各学年に収録されており、生徒が学び直しの視点を踏まえて、より実感を伴った深い学びにつながりやすい教科書と判断する。